



西宮ユネスコ

2015.9 第143号

発行所：西宮ユネスコ協会（西宮市六湛寺町8-26 西宮市教育委員会内 TEL 0798(35)3892・FAX 0798(36)1208）
 発行人：古 胡 博 巳 編集人：小 林 民 子



「アンコールプロジェクト」 識字教育が村を変える！

箕面ユネスコ協会会長 坂口 一美

公益法人ユネスコ協会連盟が取り組む「世界寺子屋運動」、「ユネスコ寺子屋プロジェクト」を推進してきた教職員を対象にしたカンボジア研修に参加しました。年齢に関わらず、「学びたい」と希望する人たちに文字や算数、また、生活に必要な保健・衛生のことなどを教えるのが「世界寺子屋運動」です。研修で訪れたカンボジアのシムリアップは首都プノンペンの北西約300km。素朴で小さな町ですが世界遺産のアンコール遺跡がある観光の町です。リエンダイ村では「復学支援クラス」を視察、公教育の小学校をドロップアウトせざるを得なかった子どもたちが通っています。ルエル寺寺子屋では夜間の識字教室を視察しました。「復学支援クラス」は2年間で、後に試験を受けて公教育へ戻ります。試験の合格率は90パーセントを超えます。ルエル寺寺子屋は夜7時から9時に行われ、暗い道を遠くでは30分かけて子どもたちが通います。2・3歳の子どもを連れた若いお母さんが、本を片手に子どもをあやしながら勉強している姿が印象的でした。

コックスロック寺子屋はすでに、識字教育の役目を終え、コミュニティーの場となり町おこしのための

場となっていました。リエンダイ村ではペットボトルやプラスチック製品などの自然に戻るものがないゴミが放置されていましたが、コックスロックではゴミが別回収されるなど環境に配慮して暮らす様子がうかがえました。識字教育を通し、村の人の教育力がアップすることで暮らしそのものが変わることを実感しました。日本ユネスコ協会連盟は書き損じはがきの回収を行っています。11枚のはがきで1人が1か月寺子屋へ通えます。私たちができる最大の応援ではないかと改めて思いました。是非ユネスコの活動に賛同し多くの皆様のご協力をいただけますことを願っております。

（公益社団法人日本ユネスコ協会連盟理事）



2015年度通常総会

西宮ユネスコ協会の2015年度通常総会は5月16日(土)、西宮市職員会館大ホールで開催され、来賓として今村岳司市長、伊藤博章教育長、西村英雄社会教育部長、米口征代人権教育推進課長、野田昭治人権教育推進課課長補佐が来賓としてご出席いただきました。

開会の挨拶で辰馬章夫会長は「ユネスコの世界遺産登録で本年度は明治日本の産業革命遺産が候補にあがっているほか、文化庁は2020年までに100件の日本遺産をめざしている。世界はこうした平和な一面と相反して各地で悲惨な戦争がやむことはなく、ユネスコの活動が必要でなくなる時は気の遠くなるほど先のことだろう」と、ユネスコ活動の必要性を強調されました。続いて、今村市長、伊藤教育長からお祝詞をいただきました。

その後、辰馬会長が議長となり議事が進行、2014年度活動報告・会計報告・会計監査報告が了承され、2015年度活動計画案・会計予算案を審議、可決されました。また、本年度は役員改選の年にあたりますが、一部役職に変更があったものの、全員が前年度から引き続き留任ということで会長から報告され承認されました。



総会後のミニコンサートは、男声合唱団コール・アルファの演奏会が行われ、若く力強い歌声に一同感動の素晴らしいひと時でした。ミニコンサート終了後、恒例のお茶の会が開催されましたが、コーラスの余韻にひたつての懇親会でした。

坂田記念セミナー

「ユネスコスクールとESD」

本年度の坂田記念セミナーは8月26日(水)、西宮市職員会館大ホールで講演会が開催されました。

今回の講演会は「ユネスコスクールとESD(持続

可能な開発のための教育)」～あなたの毎日が、未来になる～、講師は日本ユネスコ協会連盟理事で箕面ユネスコ協会会長の坂口一美氏と箕面ユネスコ協会理事の大浜淳子氏でした。



初めに坂口氏から「ESDをどう考えるかはまちまちだが、私は世界で日々起こっている様々な問題、人権や戦争、平和、貧困や環境などを自分の身近な問題としてとらえ、持続可能な社会の発展に向けて行動するものと考えている。ユネスコスクールはESDを推進する上での拠点であり、加盟することで世界のユネスコスクールの活動情報の提供や交流する機会が増え、米国・中国・韓国など海外との教員交流、ワークショップや研修会への参加などのメリットがある。またユネスコスクールの加盟校を対象とした助成金の制度もある。学校では人権教育や環境問題への教育など普段行っていることがESDであると考えていただきたい。箕面ユネスコ協会はユネスコスクールの活動を後押しすることを目的の一つとしていて、人権を総合的にとらえた視点での教育への支援を目指している。現在は「東日本大震災から学ぶ」ということで、基本的に生きること、命のことを考えている」として様々な支援活動を紹介されました。

そのうえで「被災地を応援することで生徒たちは逆に元気ももらったと考えている。ユネスコスクールへの取り組みで生徒や教師の心が豊かになるというメリットは大きい」と話されました。

大浜氏は、箕面ユネスコ協会が地域の学校を支援する活動を具体的に紹介されました。

今回の講演会には、幼稚園や小中学校の先生、伊丹ユネスコ協会や宝塚ユネスコ協会などからも参加をいただきました。先生方からは、ESDへの取り組みを学校として持続して行くことの難しさ、またユネスコ協会とのつながりの必要性などを感想としていただきました。

今後、西宮ユネスコ協会がESD、ユネスコスクールに活動として取り組んで行くうえで大変有意義な講演会であったと考えています。

★★ミニ版四国88ヶ所めぐり★★

藤村 琇子

皆さまは今年の春の不順な天候を覚えていらっしゃいますか？ 来る日も来る日も雨続きを案じながらウォーキングの会が計画されました。



3月27日(金)、行き先は甲山神呪寺境内にある四国88ヶ所を模したミニ巡礼地巡り(約2km)。西宮育ちの会員達もその存在を知らず興味深々。なんと当日は久しぶりの晴天に恵まれ参加者16名笑顔の出発となりました。平安時代初期、空海によって開山された神呪寺に江戸時代寛永10年(1798年)このミニ88ヶ所が作られたとのこと。次々に現れる石仏のお顔は様々で味わい深く賑やかな一団は山つつじを愛で、頭を出した土筆を採り、緑の山の空気を満喫して豊かな時間を過ごしました。

みんぱく探検

第3回になる「みんぱく探検」は8月17日(月)に開催されました。

吹田市にある国立民族学博物館(みんぱく)は、世界の人びとの暮らしやことば、芸能や音楽などの資料が数多く展示されています。また、展示物を見て回るだけでなく、触ったり鳴らしたりということができ、異文化の理解を深いところで感じ取れる博物館です。この催しは西宮教育委員会との共催で、西宮市所有の大型バスを運行していただくことで実施されました。

今回は子供たち11名、保護者2名に西宮ユ協会員が参加しました。午前中はアラスカやモンゴルの防寒具や馬頭琴に実際に触れ、午後は館内を見学の後、グループに分かれて感想をまとめ合うなど有意義な1日となりました。



世界遺産シリーズ

アントニ・ガウディの作品群

田岡 清志

バルセロナではアントニ・ガウディ(1852-1926年)の作品群が世界遺産として登録されている。とりわけ有名なのがサグラダ・ファミリア(聖家族教会)である。

40年程前に訪れた時は使徒の鐘楼やファサードなどが完成していたが大聖堂は未完のままであった。その時は4本の使徒の鐘楼、先端部のビナクルと呼ばれる部分が陽光に輝き神々しく思わず感涙した記憶がある。今回訪問してみると大聖堂の屋根は完成し内部に入る事が可能となっていた。

念願の大聖堂の内部に入ってみる。皆から「ウー」と思わず声が出る。森の中か植物の中に入ってしまったような異次元の感覚を覚えるのだ。

樹木から着想を得たのであろう、大聖堂を支える列柱の上の方は枝分かちしている。柱の上部から始まる丸天井のデザインは殉教のシンボルであるシュロの葉をイメージしている。

大窓や丸天井からの採光は木々の葉の間から光が差し込むような設計となっており、ステンドグラスを通して朝の光が聖堂の床に差し込んでいた。森の中にいるような不思議な安らぎと神秘性を感じる。アントニ・ガウディは近代を代表する偉大な建築家だと納得できる作品である。



ガウディの作品をハシゴするため、タクシーでグエル公園に行った。バルセロナの街が一望できる公園で、人々が自然と芸術に囲まれ暮らせる新しい住宅地として計画されたものであったが、進みすぎた発想が理解されず買い手がつかず。パトロンのグエル伯爵没後、市の公園として寄付されたものだ。

公園内を散策する。入口に建つ門衛の小屋と東屋は可愛くテーマパークのようだ。大階段に鎮座する人気のトカゲや不思議な形をした回廊など、ガウディの精神世界を垣間見る事で素晴らしい作品群を堪能した一日であった。



事務局だより

☆第71回日本ユネスコ運動全国大会 in 和歌山

本年度の全国大会は6月6日(土)～7日(日)、和歌山市民会館大ホールで開催されました。

大会テーマは「持続可能な平和のために！」～会話を広げるユネスコ～で、パネルディスカッションや子供たちによるESD活動発表が行われました。

基調講演は漫画家の松本零士氏。「銀河鉄道999」「宇宙戦艦ヤマト」などSF漫画で有名です。松本氏は(公財)日本宇宙少年団の理事長でもあり、今回は「宇宙と子どもと平和」と題してご自身の戦争体験や自然に囲まれて過ごした少年時代を振り返り、さらに大気汚染などで地球環境の悪化が進んでいることを指摘、「人間同士争っている暇があったら宇宙へ行って、いろんな資源を獲得する術を考えるべきだ。そうすれば争いもなくなり地球の平和も守られる」と壮大な夢を語られました。

今大会には西宮ユネスコ協会からは3名が参加しました。

☆書き損じハガキ・募金協力者 (2014.4～2015.3)

世界寺子屋運動にご協力ありがとうございました。切手と交換し日本ユネスコ協会連盟に送りました。

〔幼稚園・保育所〕 夙川、高須西、高木、山口、大社、小松、浜脇、鳴尾北〔公民館〕 用海、南甲子園〔小学校〕 北六甲台、高須西、段上、用海、瓦林、津門、北夙川〔中学校〕 大社、甲陵〔個人〕 鶴巻和代、小林節子、松井亮二、塩田ひろみ、谷野初江、塙幸子、笹山淑子、石原るみ子、小林淑子、小林俊子、深田晃二、小松茂規、米口征代、田中孝子、西口清子、西同協(中村・四元)、子育て総合センター、東藤能里子、田淵優子、坂東聡美、西宮市職員(竹内・野網・吉田)、前川原修一、山本仁・佳代、学校情報システム、川原安治、奥山雅敏、中原朗裕、岡けいこ、西村、竹内常子
その他匿名の方からいただきました。(敬称略)

●●● 新 入 会 員 ●●●

普通会員

今田由里 〒662-0976 西宮市宮西町8
小玉泰子 〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町3-4
林 孝子 〒665-0035 宝塚市逆瀬川1-11
村田 邑 〒662-0053 西宮市松園町8-26
大前春代 〒663-8244 西宮市津門綾羽町2

協会日誌

(2015年4月～
2015年9月)

- '15. 4. 9 英語教室第1期開講(プレラ4F)
- 5.14 2015年度兵庫県ユネスコ連絡協議会総会
(芦屋市民センター本館)
- 5.16 2015年度理事会・通常総会・懇親お茶の会
「ミニコンサート」
出演 男声合唱団コール・アルファ
指揮 辻 伸高氏
(西宮市職員会館大ホール)
- 5.23 第36回日本ユネスコ協会連盟評議員会
(東京・朝日生命大手町ビル)
- 6. 6 第71回日本ユネスコ運動全国大会in和歌山
～7 「持続可能な平和のために」
(和歌山・市民会館大ホール)
- 6.20 第66回日本ユネスコ協会連盟総会
(東京・朝日生命大手町ビル)
- 6.27 2015年度近畿ユネスコ協議会総会
(和歌山県民文化会館)
- 6.28 大阪府ユネスコ協会連絡協議会総会
(大阪大学中之島センター)
- 7.17 阪神間ユネスコ協会連絡会(1)
(当番・三田ユネスコ協会)
- 8.17 “みんなく探検” (市教委共催)
(吹田・国立民族学博物館)
- 8.26 坂田記念セミナー (市教委共催)
「ユネスコスクールとESD」
講師 坂口 一美氏
(日ユ協連理事、箕面ユ協会長)
大浜 淳子氏 (箕面ユ協理事)
(西宮市職員会館大ホール)
- 9. 3 英語教室第2期開講(プレラ4F)
- 9. 末 会報143号発行

— 今後の催しの予定 —

- '15.10. 3 第36回阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業
(神戸市立勤労会館)
- 10. 4 第43回チャリティーバザー(夙川公民館)
- 10.18 民間ユネスコ運動の日・募金活動
(阪急西宮北口駅アクタへの通路)
- 10.24 近畿ブロック・ユネスコ活動研究会in福知山
(ホテルロイヤルヒル福知山&スパ)
- 11. 7 にしのみやふるさとウォーク2015
(阪急夙川駅～阪急苦楽園口駅)
- 11.20 阪神間ユネスコ協会連絡会(2)
- 11. 研修見学会
- '16. 1. 7 英語教室第3期開講
1. 新年理事会・懇親会
1. 国際理解講座「I」
1. 古典芸能に親しむ会(文楽鑑賞)
2. 第20回西宮国際交流デー
3.18 阪神間ユネスコ協会連絡会(3)
3. 第31回ユネスコ世界児童画展・市教委共催
(市民ギャラリー)
- 3. 国際理解講座「II」